

産業廃棄物安定型最終処分場の維持管理に関する状況  
【令和2年度】

更新日 令和3年4月5日

OMエコクリーン株式会社

施設種類	安定型最終処分場
許可容量	865,772 m <sup>3</sup>
所在地	岡山市北区御津河内字北角尻3539-19外20筆

○廃掃法施行規則第12条の7の2第7号イ

埋立てた産業廃棄物の種類	埋立てた産業廃棄物の量												
	単位	令和2年										令和3年	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
廃プラスチック類	t	2,059.45	1,292.53	1,071.94	944.40	0	531.75	769.72	729.72	857.42	544.85	634.28	814.68
金属くず	t												
ゴムくず	t												
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	t	34.74	105.24	54.48	36.20	0	60.03	42.83	30.41	30.15	24.10	27.13	25.47
がれき類	t	60.03	1,068.49	2,016.86	1,497.44	0	1,531.38	262.84	875.08	804.43	728.66	1,185.36	335.56
石綿含有産業廃棄物	t	20.28	19.33	5.25	27.62	0	28.83	47.45	66.79	32.45	22.18	45.36	51.30

○廃掃法施行規則第12条の7の2第7号ロ

点検及び措置	【別紙1】のとおり
--------	-----------

○廃掃法施行規則第12条の7の2第7号ハ

測定日	令和2年3月29日
残余容量	807,682.3m <sup>3</sup>

○廃掃法施行規則第12条の7の2第7号ニ

展開検査	単位	令和2年										令和3年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
実施回数	回	227	272	309	264	0	219	128	215	212	167	246	141	
安定型以外の産業廃棄物の 付着又は混入が認められた年月日														

○廃掃法施行規則第12条の7の2第7号ホ

試料採取場所	結果
浸透水貯留槽	【別紙2】のとおり
周縁地下水1(上流)	【別紙3】のとおり
周縁地下水2(下流)	【別紙4】のとおり

【別紙1】

点検及び措置

年月	点検箇所	点検日	異常の有無	異常が認められた場合に措置を講じた年月日及び当該措置の内容
令和2年4月	擁壁・堰堤等	4/1～	無	
	沈砂池	4/1～	無	
	浸透水貯留槽	4/1～	無	
令和2年5月	擁壁・堰堤等	5/1～	無	
	沈砂池	5/1～	無	
	浸透水貯留槽	5/1～	無	
令和2年6月	擁壁・堰堤等	6/1～	無	
	沈砂池	6/1～	無	
	浸透水貯留槽	6/1～	無	
令和2年7月	擁壁・堰堤等	7/1～	無	
	沈砂池	7/1～	無	
	浸透水貯留槽	7/1～	無	
令和2年8月	擁壁・堰堤等	8/1～	無	
	沈砂池	8/1～	無	
	浸透水貯留槽	8/1～	無	
令和2年9月	擁壁・堰堤等	9/1～	無	
	沈砂池	9/1～	無	
	浸透水貯留槽	9/1～	無	
令和2年10月	擁壁・堰堤等	10/1～	無	
	沈砂池	10/1～	無	
	浸透水貯留槽	10/1～	無	
令和2年11月	擁壁・堰堤等	11/2～	無	
	沈砂池	11/2～	無	
	浸透水貯留槽	11/2～	無	
令和2年12月	擁壁・堰堤等	12/1～	無	
	沈砂池	12/1～	無	
	浸透水貯留槽	12/1～	無	
令和3年1月	擁壁・堰堤等	1/6～	無	
	沈砂池	1/6～	無	
	浸透水貯留槽	1/6～	無	
令和3年2月	擁壁・堰堤等	2/1～	無	
	沈砂池	2/1～	無	
	浸透水貯留槽	2/1～	無	
令和3年3月	擁壁・堰堤等	3/1～	無	
	沈砂池	3/1～	無	
	浸透水貯留槽	3/1～	無	

(※) 構造物(擁壁・堰堤、沈砂池、浸透水貯留槽)については、営業日に毎日点検を行う。

【別紙2】

放流水(浸透水)の水質検査状況

項目	単位	基準値	令和2年										令和3年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			採取日	4月6日	5月8日	6月29日	7月28日	8月6日	9月9日	10月27日	11月14日	12月11日	1月15日	2月4日	3月11日
結果の得られた日	4月15日	5月22日	7月22日	8月7日	8月13日	9月25日	11月18日	11月26日	12月22日	1月27日	2月18日	3月25日			
pH	-	6.5~8.5	8.0	7.8	7.8	7.8	8.1	7.9	7.9	7.9	8.0	8.0	8.2	7.9	
BOD	mg/L	20以下	4.2	7.6	55.0	18.0	12.0	8.8	5.1	5.8	3.5	2.3	1.9	2.3	
COD	mg/L	40以下	19.0	17.0	58.0	41.0	33.0	13.0	36.0	14.0	7.7	8.6	9.5	9.5	
SS	mg/L	30以下	2.0	12.0	11.0	48.0	2.0	15.0	2.0	10.0	6.0	10.0	7.0	6.0	
n-ヘキサン抽出物	mg/L	5以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
窒素含有物	mg/L	20以下	4.6	4.6	14.0	12.0	12.0	4.1	12.0	4.5	2.3	2.6	2.9	3.1	
リン含有量	mg/L	5以下	0.81	0.79	1.70	1.10	1.00	0.46	1.40	0.53	0.34	0.41	0.22	0.43	
カドミウム	mg/L	0.003以下			ND				ND						
全シアン	mg/L	検出されないこと			ND				ND						
有機リン化合物	mg/L	0.1以下			ND				ND						
鉛	mg/L	0.01以下			ND				ND						
六価クロム	mg/L	0.05以下			ND				ND						
砒素	mg/L	0.01以下	ND	ND	0.019	0.012	0.01	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと			ND				ND						
総水銀	mg/L	0.0005以下			ND				ND						
PCB	mg/L	検出されないこと			ND				ND						
トリクロロエチレン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
ジクロロメタン	mg/L	0.02以下			ND				ND						
四塩化炭素	mg/L	0.002以下			ND				ND						
塩化ビニルモノマー	mg/L	0.002以下			ND				ND						
1・2-ジクロロエタン	mg/L	0.004以下			ND				ND						
1・1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1以下			ND				ND						
1・2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04以下			ND				ND						
1・1・1-トリクロロエタン	mg/L	1以下			ND				ND						
1・1・2-トリクロロエタン	mg/L	0.006以下			ND				ND						
1・3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002以下			ND				ND						
チウラム	mg/L	0.006以下			ND				ND						
シマジン	mg/L	0.003以下			ND				ND						
チオベンカルブ	mg/L	0.02以下			ND				ND						
ベンゼン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
セレン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
1・4-ジオキサン	mg/L	0.05以下			0.024				0.026	0.008					
水質悪化の有無			無	無	有	有	有	無	※4	無	無	無	無	無	
水質悪化時に講じた措置内容					※1	※2	※3			※5					

- ※1 BOD、COD、砒素が基準値を超過したため、報告を受けた7/27から廃棄物の搬入を停止した。  
窒素含有物が自主基準値(基準値の1/2超)を超えたため、継続ウォッチを行っていく。  
主因は火災の消火活動による消火剤と場内排水樹等の堆積物と思われる。場内廃棄物と場内排水樹等の洗浄を行い、水質の変化を確認する。
- ※2 COD、SS、砒素が基準値を超過している。SSの超過は雨天時の細砂の混入が主因。CODと砒素は以前基準値超だが漸減傾向にある。  
BOD、窒素含有物は自主基準値を超えているため、継続ウォッチを行っていく。  
引き続き、場内廃棄物及び場内排水樹の洗浄を行い、水質の変化を確認する。
- ※3 水質は基準値内に収まった。BODについては8/3 11→8/4 12→8/6 12と受入再開及び放流目安となる基準値の75%値を3回連続で満足した。  
CODは8/22 15→8/24 14と基準値の1/2以下を満足した。、砒素も8/22 ND→8/24 NDと基準値の1/2以下を満足したため、9/1から廃棄物の受入れ再開及び調整池の放流を再開する。

項目	単位	基準値	令和2年 8月							
			採取日	8月3日	8月4日	8月6日	8月10日	8月18日	8月22日	8月24日
BOD	mg/L	20以下	11.0	12.0	12.0					
COD	mg/L	40以下	35.0	36.0	33.0	31.0	26.0	15.0	14.0	
SS	mg/L	30以下	5.0	3.0	2.0					
窒素含有物	mg/L	20以下			12.0					
砒素	mg/L	0.01以下	0.01	0.01	0.01	0.009	0.008	ND	ND	

- ※4 COD、窒素含有物、砒素、1・4-ジオキサンが自主基準値(基準値の1/2超)を超過したため、継続的にウォッチを行う。
- ※5 COD、窒素含有物、砒素、1・4-ジオキサンは全て自主基準値を満足している。



【別紙4】

周縁地下水2(下流)の水質検査状況

項目	単位	基準値	令和2年									令和3年			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			採取日		6月24日				10月27日	11月26日					
結果の得られた日		7月22日				11月18日	12月7日								
pH	-	6.5~8.5			6.7				6.8						
BOD	mg/L	20以下			0.5未満				0.5未満						
COD	mg/L	40以下			3.7				3.9						
SS	mg/L	30以下			11				12						
n-ヘキサン抽出物	mg/L	5以下			ND				ND						
窒素含有物	mg/L	20以下			0.58				0.71						
リン含有量	mg/L	5以下			0.065				0.15						
カドミウム	mg/L	0.03以下			0.0009				0.0003						
全シアン	mg/L	検出されないこと			ND				ND						
有機リン化合物	mg/L	0.1以下			ND				ND						
鉛	mg/L	0.01以下			ND				0.006	ND					
六価クロム	mg/L	0.05以下			ND				ND						
砒素	mg/L	0.01以下			ND				ND						
総水銀	mg/L	0.0005以下			ND				ND						
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと			ND				ND						
PCB	mg/L	検出されないこと			ND				ND						
トリクロロエチレン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
ジクロロメタン	mg/L	0.02以下			ND				ND						
四塩化炭素	mg/L	0.002以下			ND				ND						
クロロエチレン	mg/L	0.002以下			ND				ND						
1・2-ジクロロエタン	mg/L	0.004以下			ND				ND						
1・1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1以下			ND				ND						
1・2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04以下			ND				ND						
1・1・1-トリクロロエタン	mg/L	1以下			ND				ND						
1・1・2-トリクロロエタン	mg/L	0.006以下			ND				ND						
1・3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002以下			ND				ND						
チウラム	mg/L	0.006以下			ND				ND						
シマジン	mg/L	0.003以下			ND				ND						
チオベンカルブ	mg/L	0.02以下			ND				ND						
ベンゼン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
セレン	mg/L	0.01以下			ND				ND						
1・4-ジオキサン	mg/L	0.05以下			ND				ND						
水質悪化の有無					無					無					
水質悪化時に講じた措置内容															

※1 鉛が自主基準値(基準値の1/2超)を超過したため、継続的にウォッチを行う。

※2 鉛は不検出となった。